

# 「クルマのまち豊田」から「美味しい豊田」を発信



豊田商工会議所では、今後各種イベント等でPRし、とよた元氣プロジェクトと連携しながら地産外産や小規模事業者の販路拡大支援事業として進めてまいります。

豊田商工会議所は、豊田市の食の魅力を広く発信するため、市内の小規模事業者などが生産した商品を紹介・販売するWebサイト「WE LOVE とよたマルシェ」(http://toyota-marche.jp)をスタートしました。「クルマのまち」のイメージが強い本市ですが、和菓子やお茶、はちみつをはじめ「とよたらしき」が感じられる市内小規模事業者が自ら製造・販売する「おいしい特産品」をWebサイトを通して全国に紹介しています。当Webサイトには30店舗以上が出店し、自動車をかたどったもなかやオレンジ色のトマト、桃太郎ゴールド100%のトマト、桃太郎ソーイングシシと鹿肉のジビエ焼き肉セットなどバラエティー豊かな商品を掲載しています。商品紹介ページでは、商品の紹介に加えて、店舗情報や商品のこだわり、生産者や販売者の想い等を掲載しています。

## 豊田商工会議所

豊田商工会議所は、豊田市の食の魅力を広く発信するため、市内の小規模事業者などが生産した商品を紹介・販売するWebサイト「WE LOVE とよたマルシェ」(http://toyota-marche.jp)をスタートしました。「クルマのまち」のイメージが強い本市ですが、和菓子やお茶、はちみつをはじめ「とよたらしき」が感じられる市内小規模事業者が自ら製造・販売する「おいしい特産品」をWebサイトを通して全国に紹介しています。当Webサイトには30店舗以上が出店し、自動車をかたどったもなかやオレンジ色のトマト、桃太郎ゴールド100%のトマト、桃太郎ソーイングシシと鹿肉のジビエ焼き肉セットなどバラエティー豊かな商品を掲載しています。商品紹介ページでは、商品の紹介に加えて、店舗情報や商品のこだわり、生産者や販売者の想い等を掲載しています。

# 10周年迎えイルミネーション拡大



フィナーレでは花火とイルミネーションが共演

初日の点灯セレモニーは12月2日、「ラバーストリート10thアニバーサリーメモリアルイルミネーション」に保田ケ池をテーマに、保田ケ池センター駐車場の特設会場で午後4時前からスタートする。昨年は1日で約4千人が来場し、大盛況だった。主な内容は、ステージイベントやグルメ屋台、クリスマスディスプレイ、抽選会など多彩に練り広げるほか、イルミネーションと真冬の花火による幻想的な演出で盛り上げ

## みよし商工会

みよし商工会は、毎年多くの人が出でにぎわう保田ケ池公園のイルミネーション事業を、12月2日から2018年1月31日まで開催することを決めた。毎回市内の事業者300社超が協賛する「みよしの冬を彩る風物詩」となっている。

# 変化には変化で対応する商工会



知立市では、知立駅周辺に市内のランドマークとなる再開発ビルの組合が発足され、いよいよ、知立駅を中心とした鉄道高架事業に併せた新しいまちづくりの第一歩がスタートし、今後の展開が大いに期待されることです。当会の平成29年度においては、「変化には変化で対応する商工会」をスローガンに、知立駅鉄道高架や駅前再開発などの巨大プロジェクトに対応すべく、商店街の「にぎわい維持・創造」の起爆剤として知立駅前にLED電光掲示板を設置し、新しい知立の情報発信を通じて中心市街地活性化を図り、また超高齢化社会に直面する経営者の事業承継課題等々の時代の変化に対応するため、小規模事業者への巡回支援を一層強化いたします。さらに、愛知県と愛知県商工会連合会の海外販路開拓事業の一環として、台湾最大の日本観光展に会員企業が出展し、新たな事業展開を支援するなど、頼りにされる商工会として諸事業に取り組みまいります。

## 知立市商工会

知立市では、知立駅周辺に市内のランドマークとなる再開発ビルの組合が発足され、いよいよ、知立駅を中心とした鉄道高架事業に併せた新しいまちづくりの第一歩がスタートし、今後の展開が大いに期待されることです。当会の平成29年度においては、「変化には変化で対応する商工会」をスローガンに、知立駅鉄道高架や駅前再開発などの巨大プロジェクトに対応すべく、商店街の「にぎわい維持・創造」の起爆剤として知立駅前にLED電光掲示板を設置し、新しい知立の情報発信を通じて中心市街地活性化を図り、また超高齢化社会に直面する経営者の事業承継課題等々の時代の変化に対応するため、小規模事業者への巡回支援を一層強化いたします。さらに、愛知県と愛知県商工会連合会の海外販路開拓事業の一環として、台湾最大の日本観光展に会員企業が出展し、新たな事業展開を支援するなど、頼りにされる商工会として諸事業に取り組みまいります。

# 市街地の再整備進む JR、名鉄の駅前エリア

昨年100周年を迎えた岡崎市は、三河の中核都市として新たな時代へ飛躍するためのまちづくりが盛んだ。内田康宏岡崎市長は「地域の事情に合わせた基盤整備を進めていくことで、まちのブランド力を高め、企業誘致や観光客および定住人口の増加をめざし、にぎわいと交流の創造や、歴史と文化の継承につなげていく」とまちづくりの方針を示している。同市南部のJR岡崎駅前では、コンベンションホールやホテル、

岡崎



# 西三河地